

ことわざ「親の^{あまちゃ}甘茶が毒となる」

「親の甘茶が毒となる」とは、親が子供を甘やかして育てるのは、長い目で見るとその子供のためにならず、むしろ害を及ぼすことになるということです。

家庭は子供にとって安心できる場所であってほしい、あまり我が子に辛い思いをさせたくないと思うことはあります。ただ子育ては甘やかすだけでなく、時に厳しくすることも必要です。父親や母親なら許してくれることが、社会では許されないこともあります。

家庭で「大人になった時どうふるまうか」や「社会ではどのようなふるまいが必要か」は徐々に教えておきたいものです。

Q『友達と同じものを欲しがる子供』

4歳の娘は、お友達が持っている物ばかり欲しがります。
いつも買い与えるわけにはいきません。
なんと言っても分からせればよいのか困っています。



A 物を与えるルールは家庭内にありますか？

「欲しいものを買ってもらえるのは特別な日や誕生日」など、小さいうちからルールを決めておくことが大切です。

これが後々、子供が自分自身をコントロールする力に影響を及ぼすことになります。

また、「人との違いを受け入れる」ということも大切です。

弁当を持っていく機会がある子供は「次はウィンナーを入れて」「卵焼きはのりを入れてほしい」などと突然言うことがあります。

お友達の弁当を見て言っていることが多いのですが、子供は「自分は人とは違う」ということが分かっているようで分かっていません。

同じ物を持つことで安心感を得ている行動です。

子どもは人の物をよく見ていますし、同じ物を欲しがることは日常的にあります。これが幼児期の特徴なのです。

「同じにしたい」という思いは受け止めつつ、我慢させることは大事な経験です。家や人によってそれぞれ違いがあるのだということを伝えてあげてください。



参照：「山本直美の子育てレスキュー」

個別相談 まずは、お電話ください。

電話・FAX 0893 (24) 4580

☆そよ風のホームページを開設！

月・火・木・金 午前9時～午後4時

【大洲子育てサポート“そよ風”】

大洲市アフタースクールおおず内（元大洲幼稚園）
大洲市大洲 715

そよ風HP
こちらから➡

